

第1回 阿賀野川自然再生 モニタリング検討会

現地視察資料

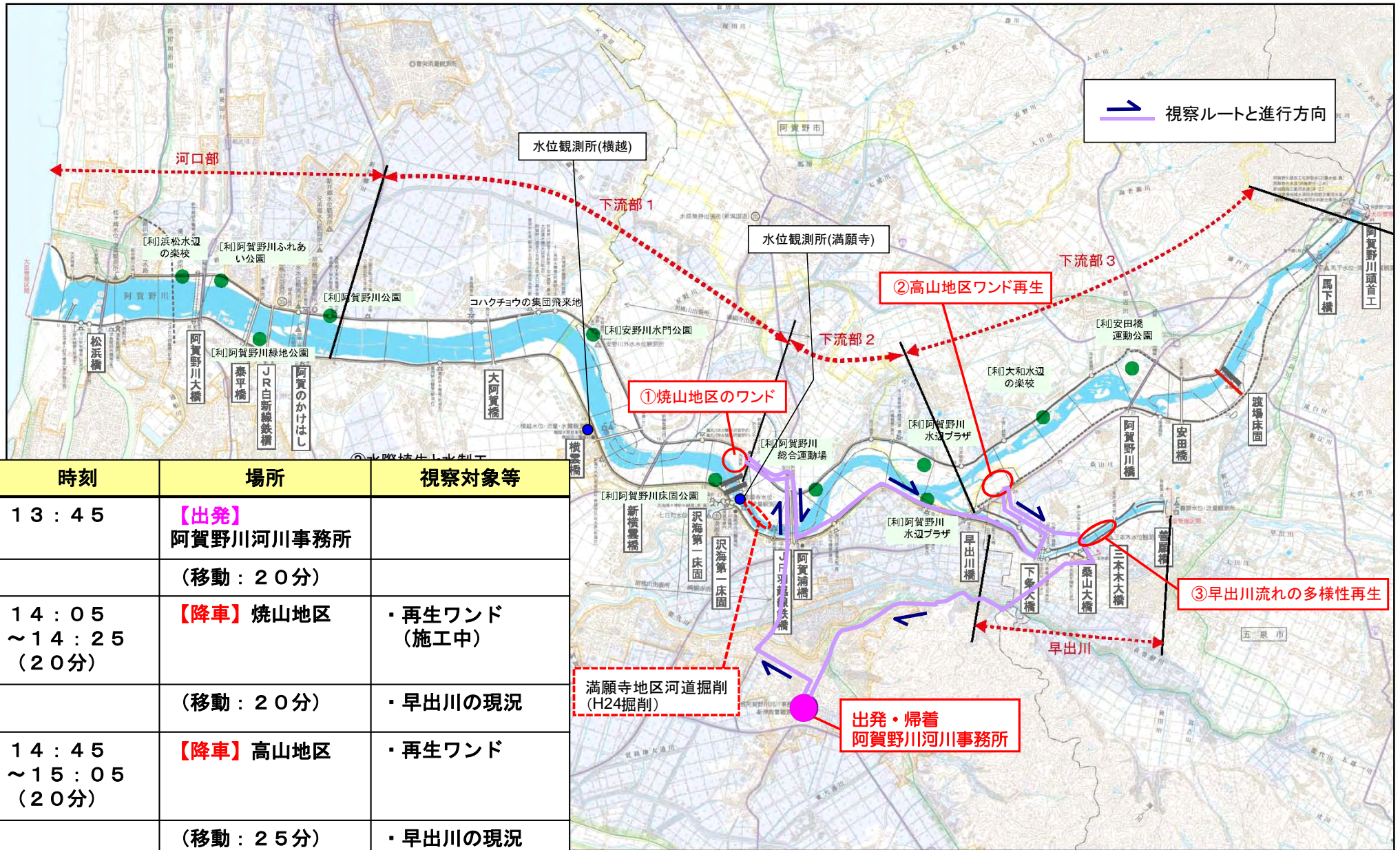


阿賀野川河川事務所

平成26年12月1日

目 次	
1. スケジュール、ルート図	1
2. 焼山地区ワンド再生箇所	2
3. 満願寺地区河道掘削箇所（現況写真での確認）	12
4. 高山地区ワンド再生箇所	17
5. 早出川流れの多様性再生箇所	24

1. スケジュール、ルート図



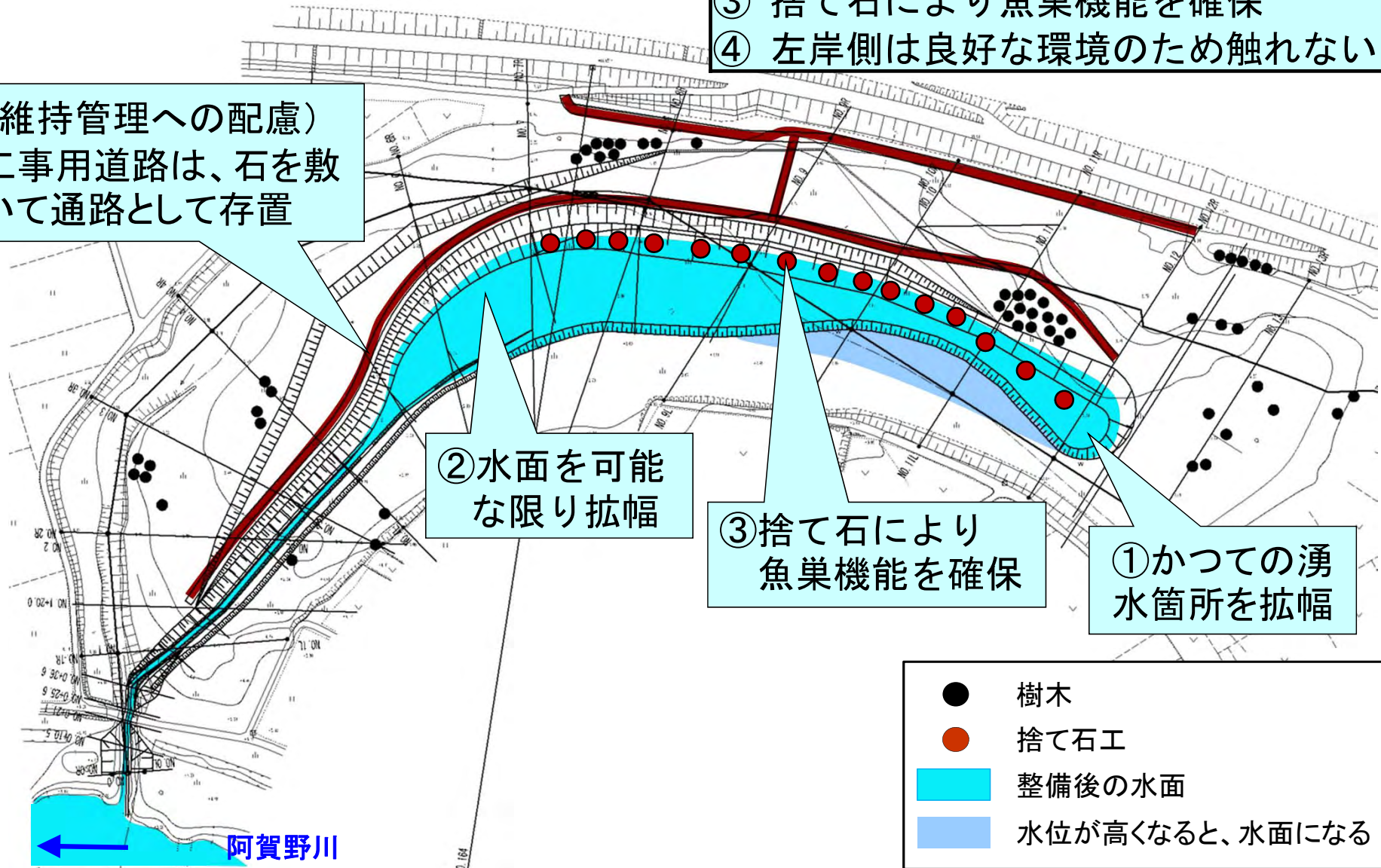
時刻	場所	視察対象等
13:45	【出発】 阿賀野川河川事務所	
	(移動: 20分)	
14:05 ~14:25 (20分)	【降車】 焼山地区	・再生ワンド (施工中)
	(移動: 20分)	・早出川の現況
14:45 ~15:05 (20分)	【降車】 高山地区	・再生ワンド
	(移動: 25分)	・早出川の現況
15:30 (休憩10分) 15:40 ~16:40	【帰着】 阿賀野川河川事務所	・検討会



計画平面図

- ### 設計思想
- ① かつての湧水箇所を拡幅
 - ② 水面を可能な限り拡幅
 - ③ 捨て石により魚巢機能を確保
 - ④ 左岸側は良好な環境のため触れない

(維持管理への配慮)
工事用道路は、石を敷いて通路として存置



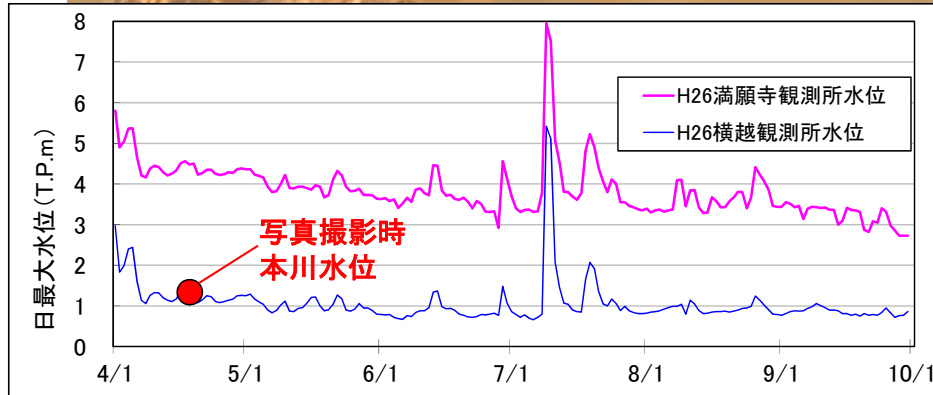
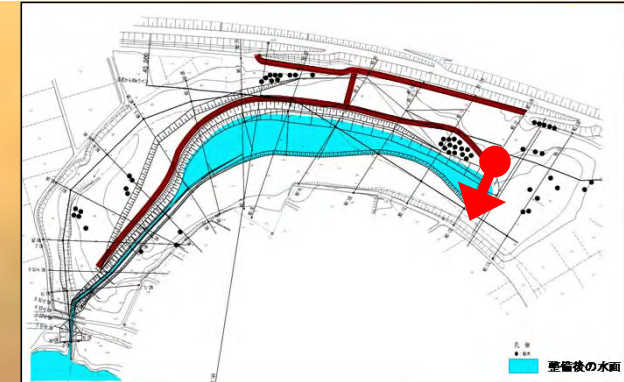
② 水面を可能な限り拡幅

③ 捨て石により魚巢機能を確保

① かつての湧水箇所を拡幅

●	樹木
●	捨て石工
■	整備後の水面
■	水位が高くなると、水面になる

- 施工後に上流部右岸で湧き水を確認
- 9月水質調査時の湧出量は $0.02\text{m}^3/\text{s}$ (約 $1,700\text{m}^3/\text{日}$)



湧出箇所

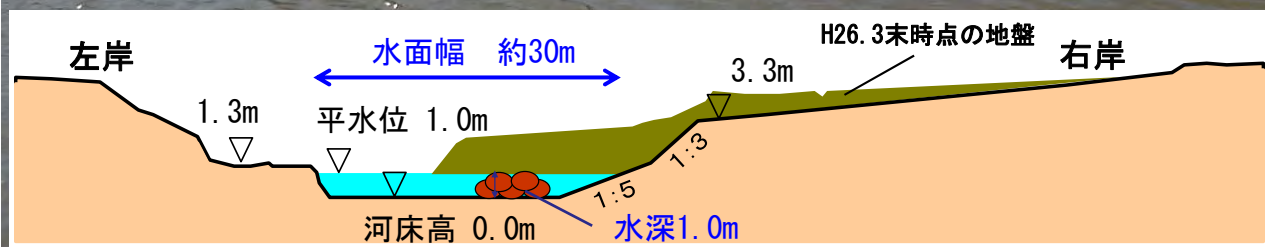
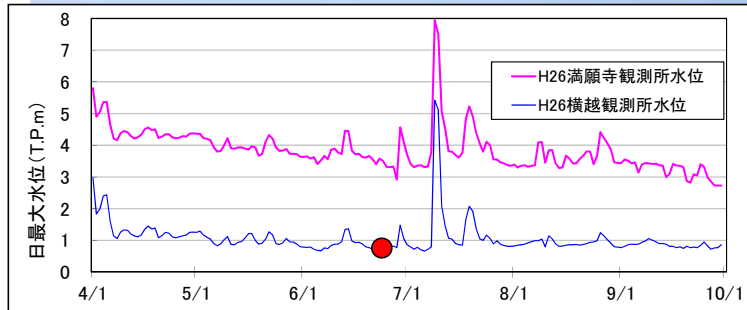


湧出量の観測
(下流の浅い水路で流量観測)



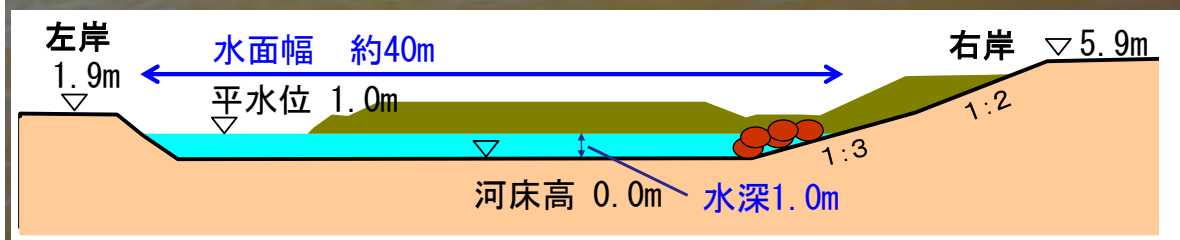
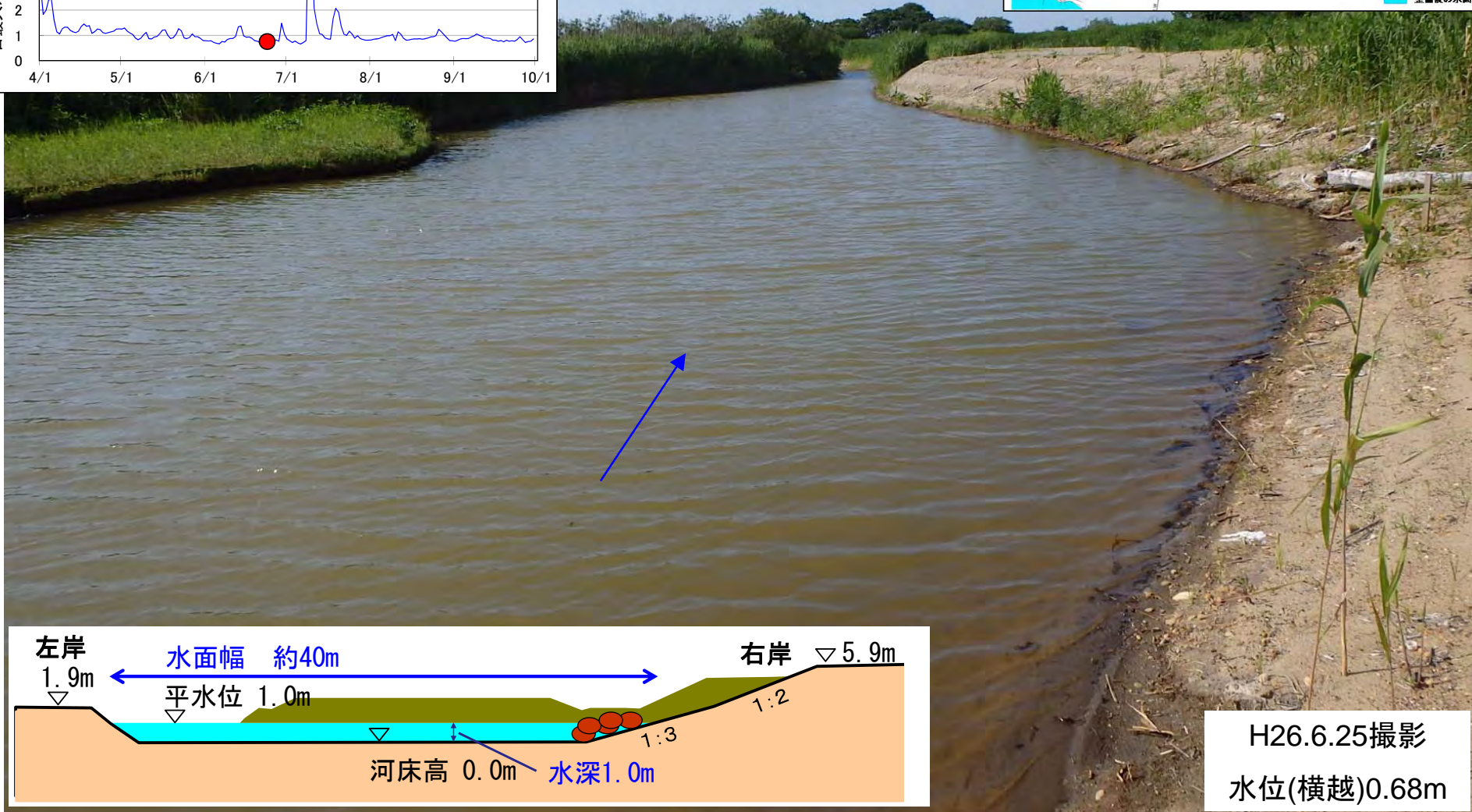
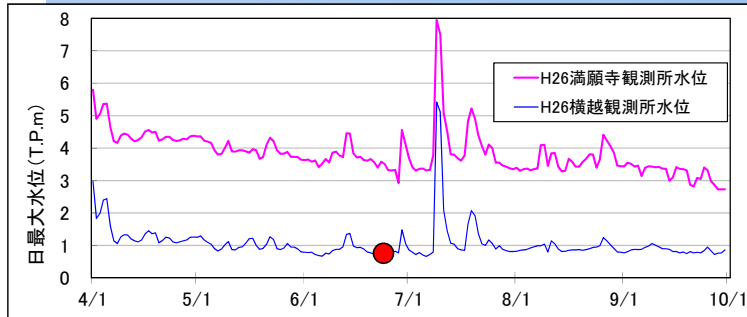
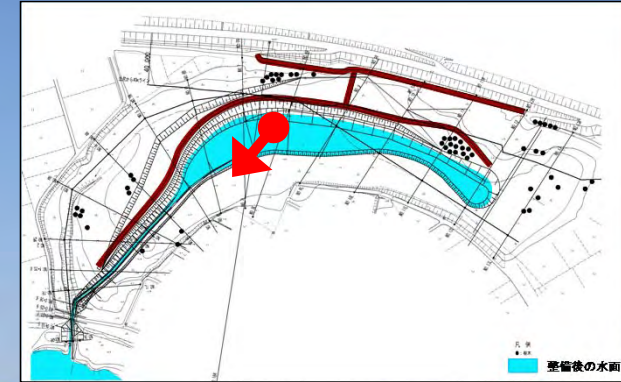
H26.4.15撮影
水位(横越)1.12m

- ・ 最上流から下流方向を望む (6月)
- ・ 正面左岸側は、植生が良好



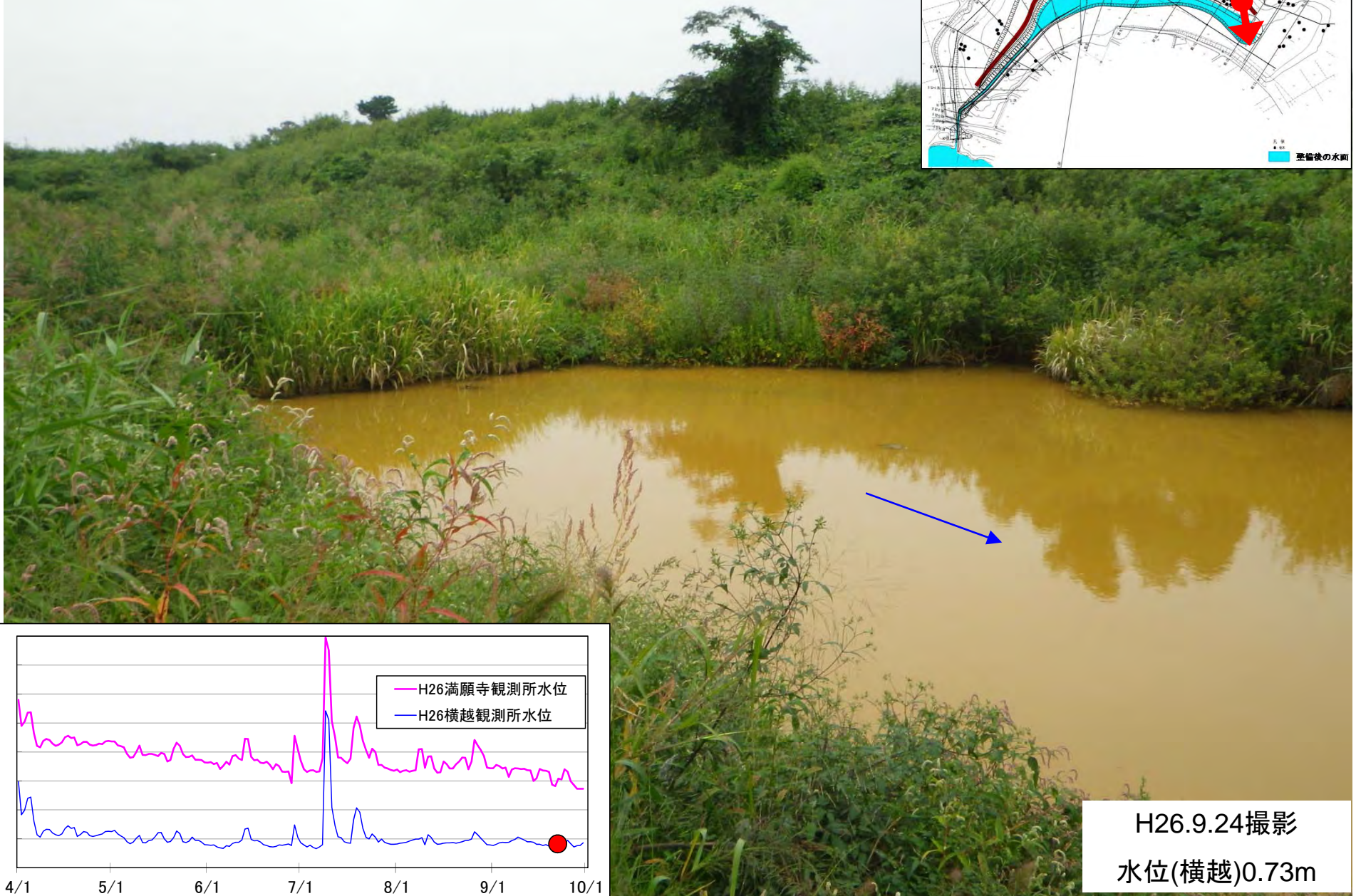
H26.6.25撮影
水位(横越)0.68m

- ・ 中流部から下流方向を望む（6月）
- ・ 写真右側への拡幅を予定している。



H26.6.25撮影
水位(横越)0.68m

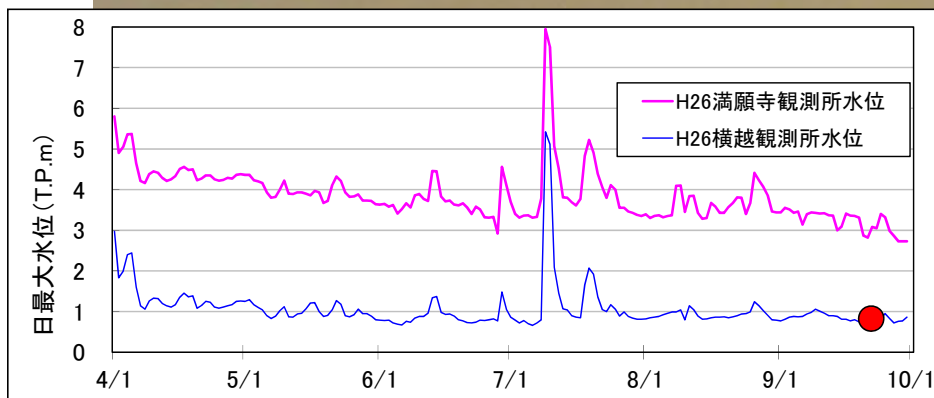
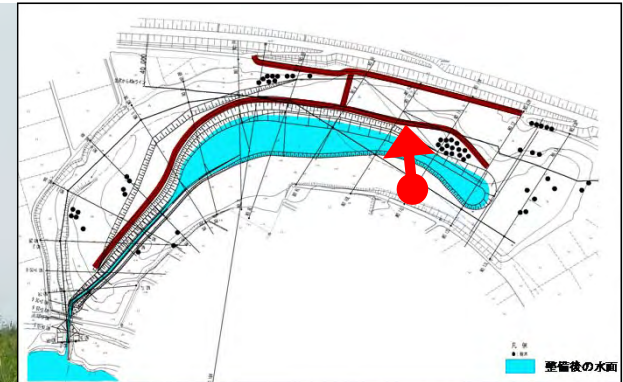
- ・ ワンド最上流部（9月）
- ・ 水際には水生植物が繁茂



H26.9.24撮影
水位(横越)0.73m

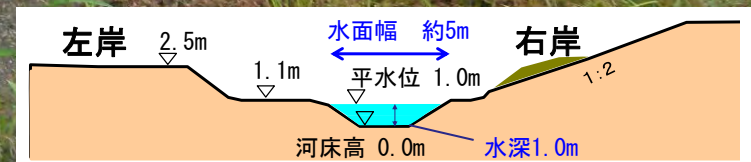
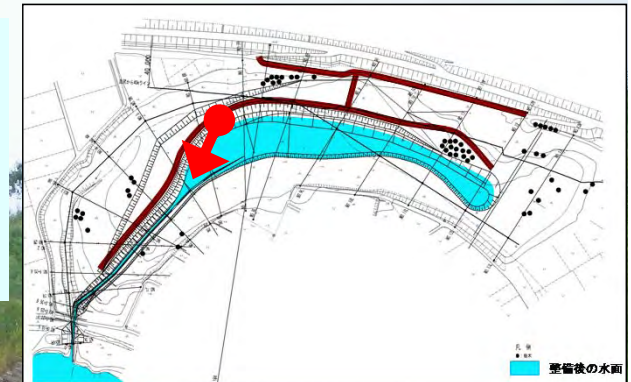
2.5. 焼山地区の現況⑤ ワンド中流

- ・ 上流部（左岸）から下流方向を望む（9月）
- ・ 掘削箇所にはヨシが定着している



H26.9.24撮影
水位(横越)0.73m

- ・ ワンド下流部から下流方向を望む（9月）
- ・ 今後、水路部の河床を0.5m掘り下げる。
- ・ 整備した水辺の移行帯は、湿生植物の生育地となっている。（10月）



H26.9.24撮影
水位(横越)0.73m

2.7. 焼山地区の現況⑦ 下流端(橋上より上流)

- ・ 橋から上流方向を望む (9月)
- ・ 浅い水路状になっている



H26.9.24撮影
水位(横越)0.73m

2.8. 焼山地区の現況⑧ 下流端(橋上より下流)

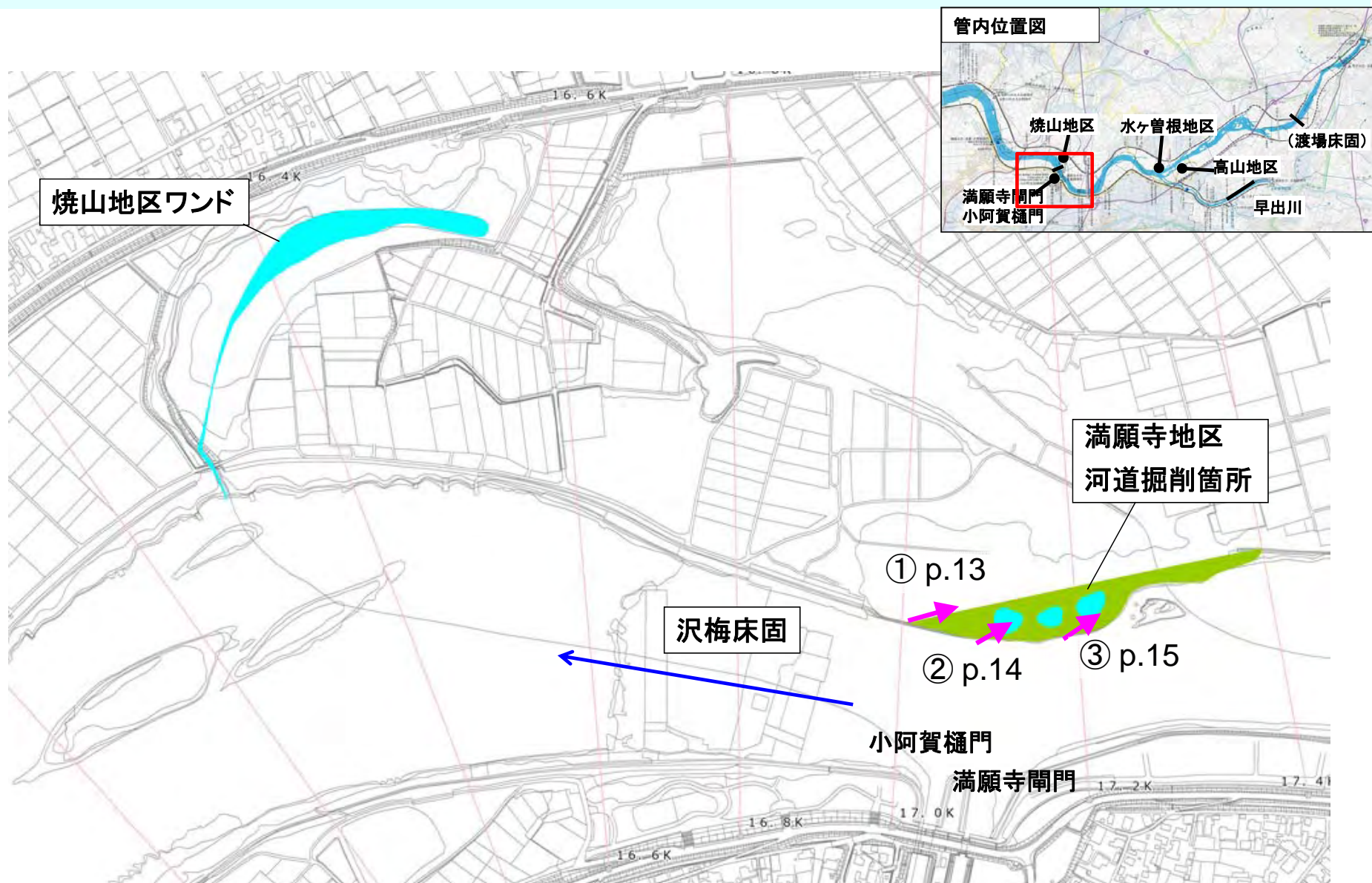
- ・ 橋から下流方向を望む (9月)
- ・ 奥に見えるのは阿賀野川本川



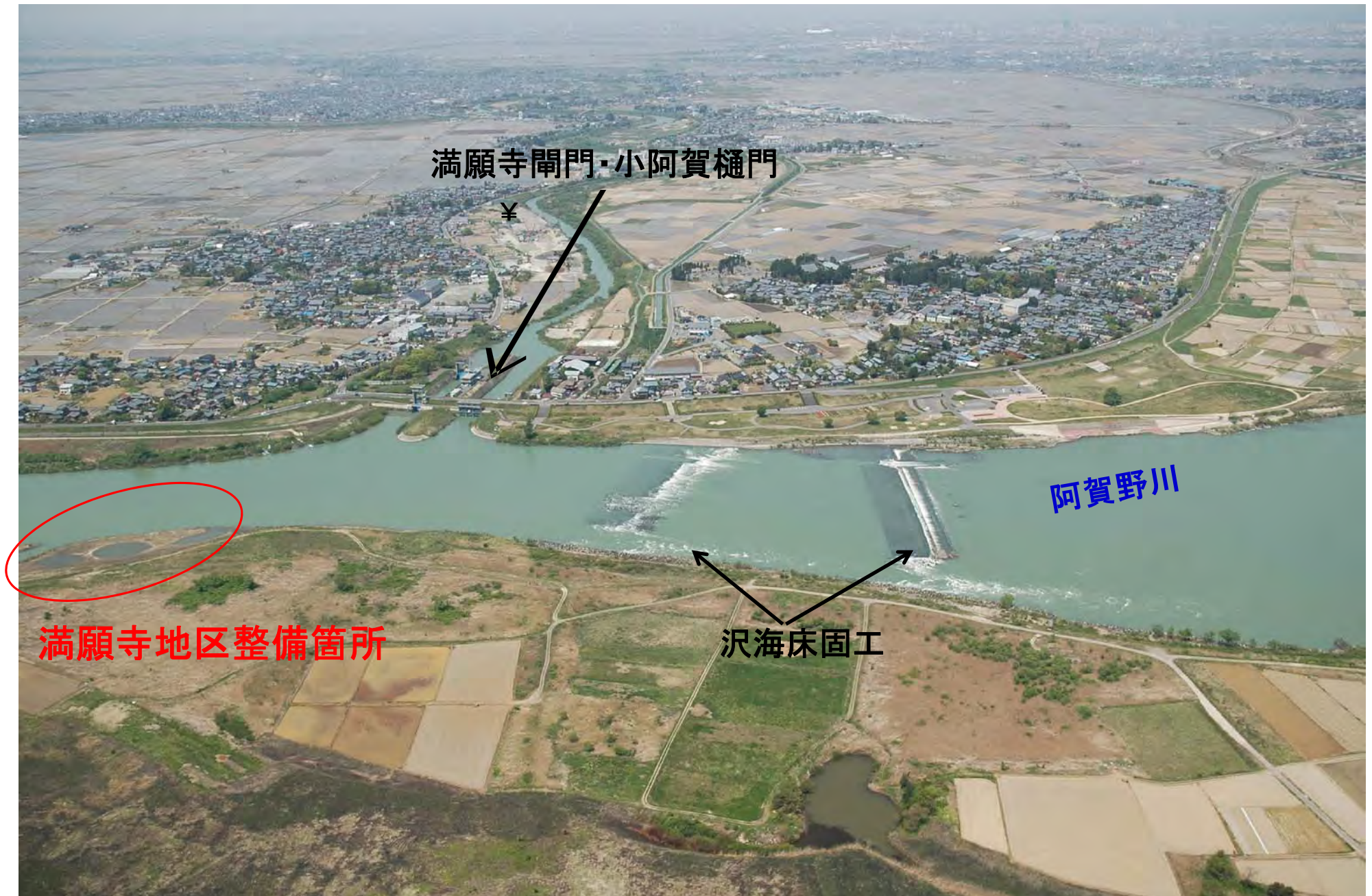
H26.7.1撮影
水位(横越)0.79m

3. 満願寺地区河道掘削箇所(現況写真での確認)

- ・平成24年8月に、河道掘削に合わせて水を溜めるたまりを造成
- ・施工後の平成25年の調査で、植物重要種のツルアブラガヤ、カワヂシャ等や、魚類重要種のドジョウを確認

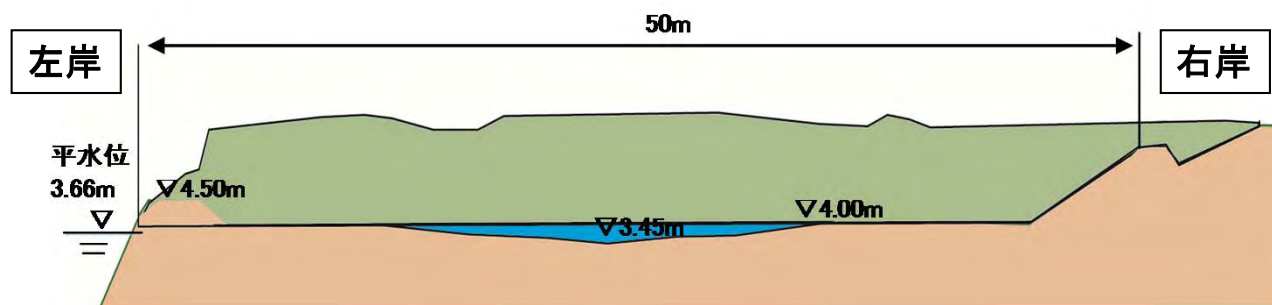
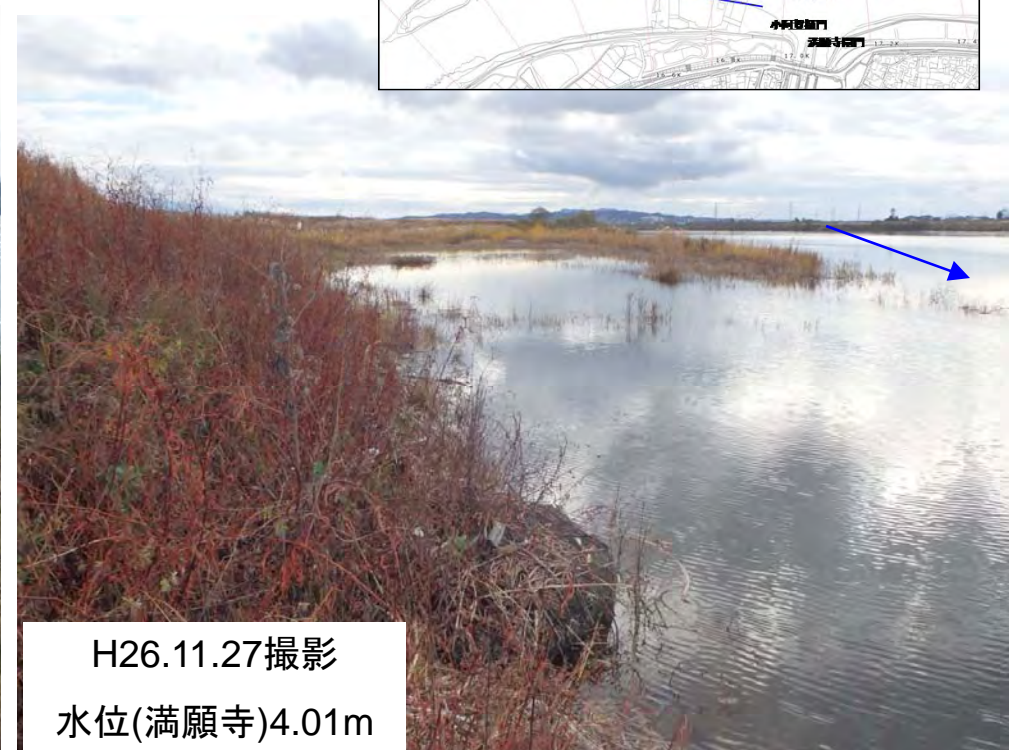
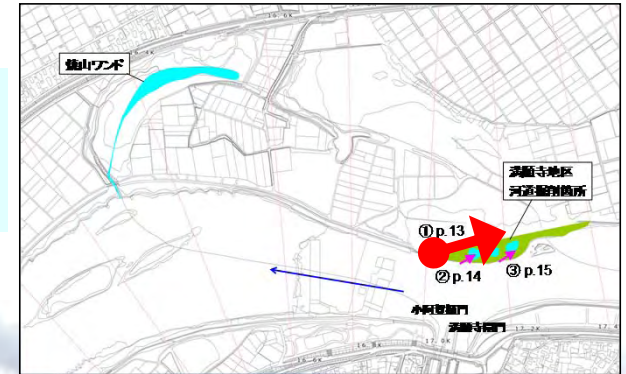


3. 満願寺地区河道掘削箇所(現況写真での確認)

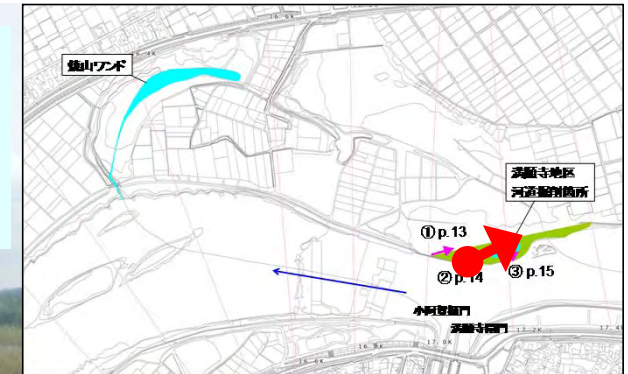


3.1. 満願寺地区の現況 ①下流部 上流方向

- ・ 満願寺地区掘削箇所全景（下流端から上流方向を望む）
- ・ たまりが3つあり、水位上昇時に本川と接続する。

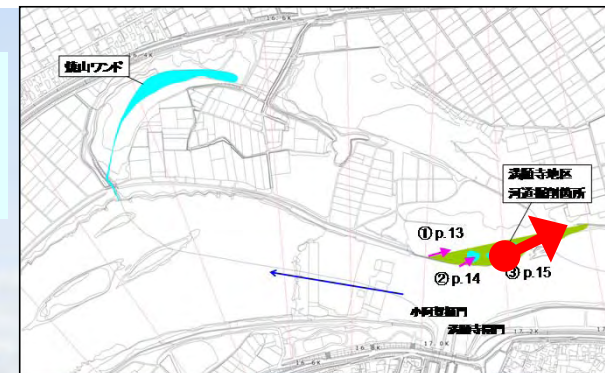


- 最下流のたまりの下流端から上流方向を望む
- 本川と接続する部分は植生がほとんど無く、それ以外はヨシ等が繁茂している。



H26.9.11撮影
水位(満願寺)3.31m

- ・ 最上流のたまりの下流端から上流方向を望む
- ・ たまりの周辺にはヨシやスゲ類が繁茂している。

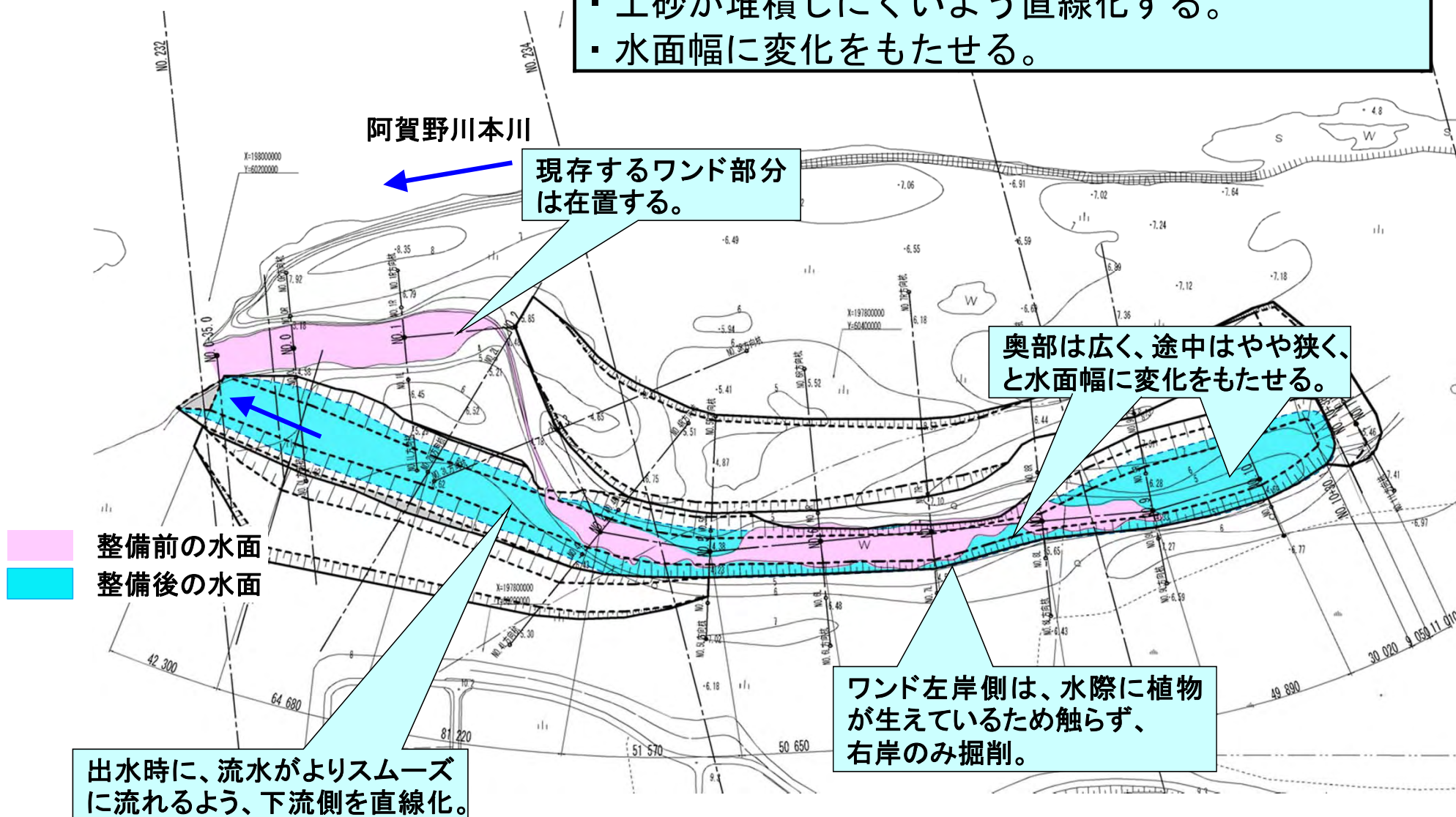


H26.9.11撮影
水位(満願寺)3.31m

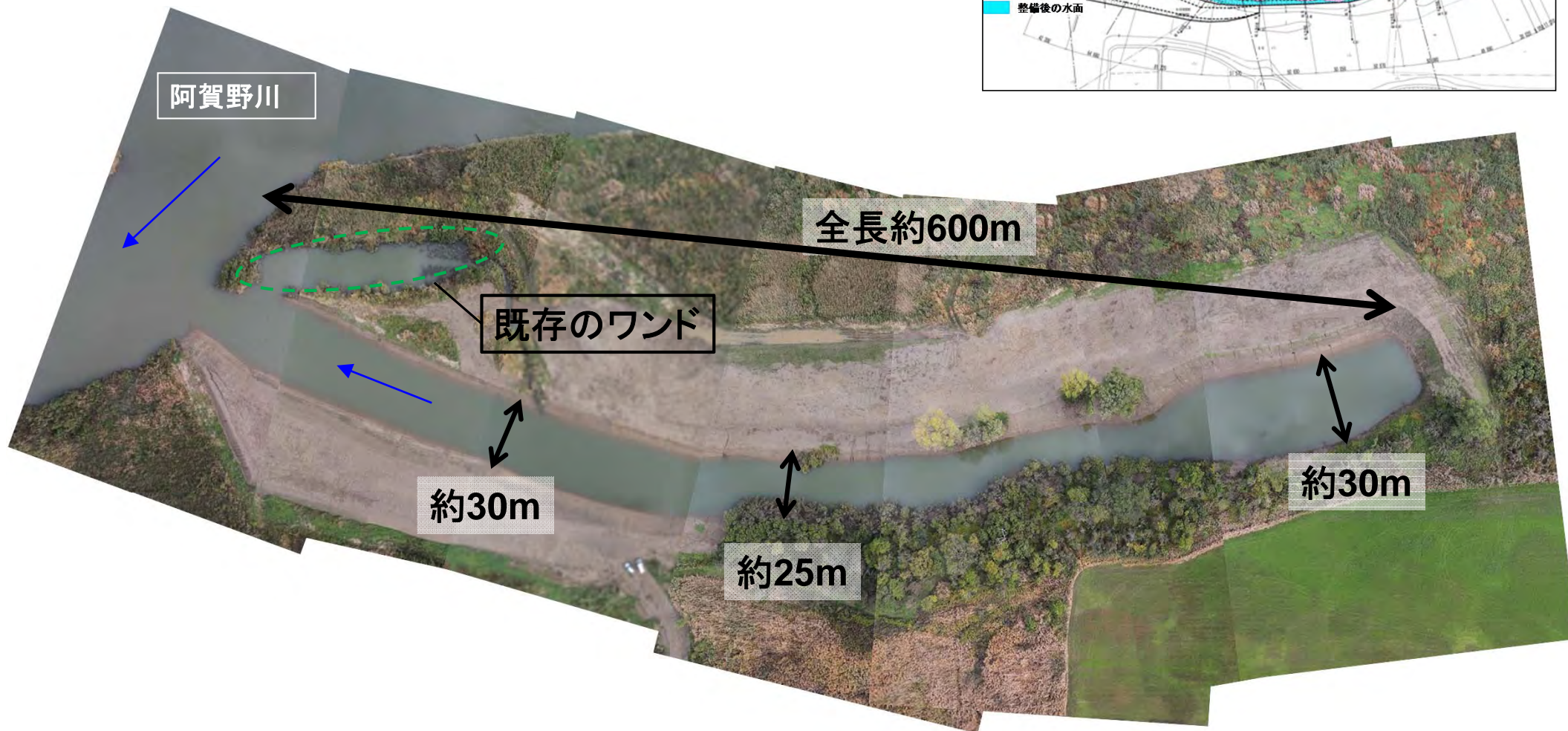
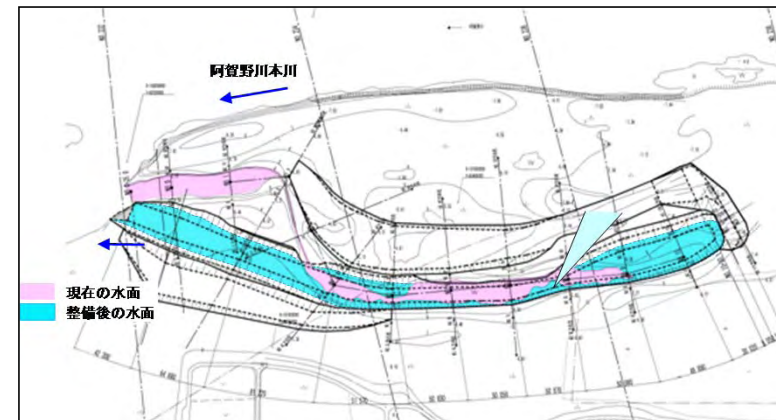
計画平面図

設計思想

- ・ 既存のたまりを拡幅し、長いワンドを再生する。
- ・ 土砂が堆積しにくいよう直線化する。
- ・ 水面幅に変化をもたせる。

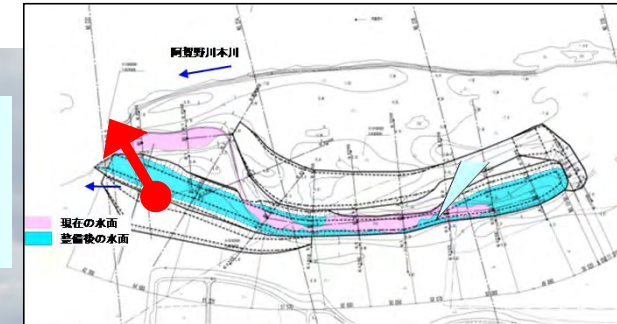


・ 造成後のワンド全景 (11/16撮影)



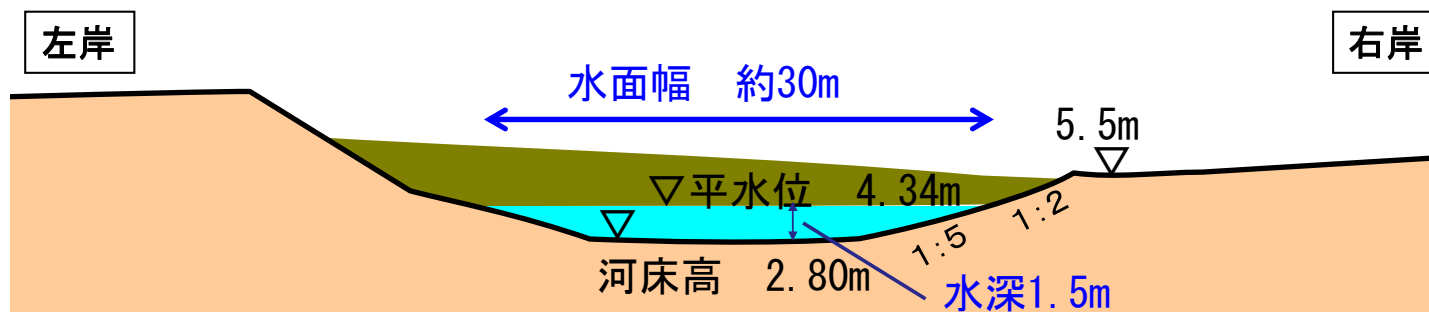
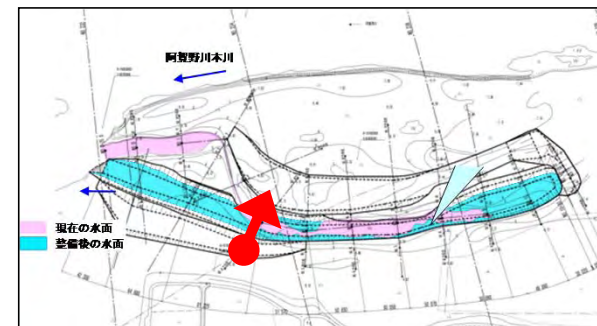
H26.11.16撮影

- ・ ワンドの下流部。
- ・ 右岸側の既存のワンドと接続し、本川に合流する。

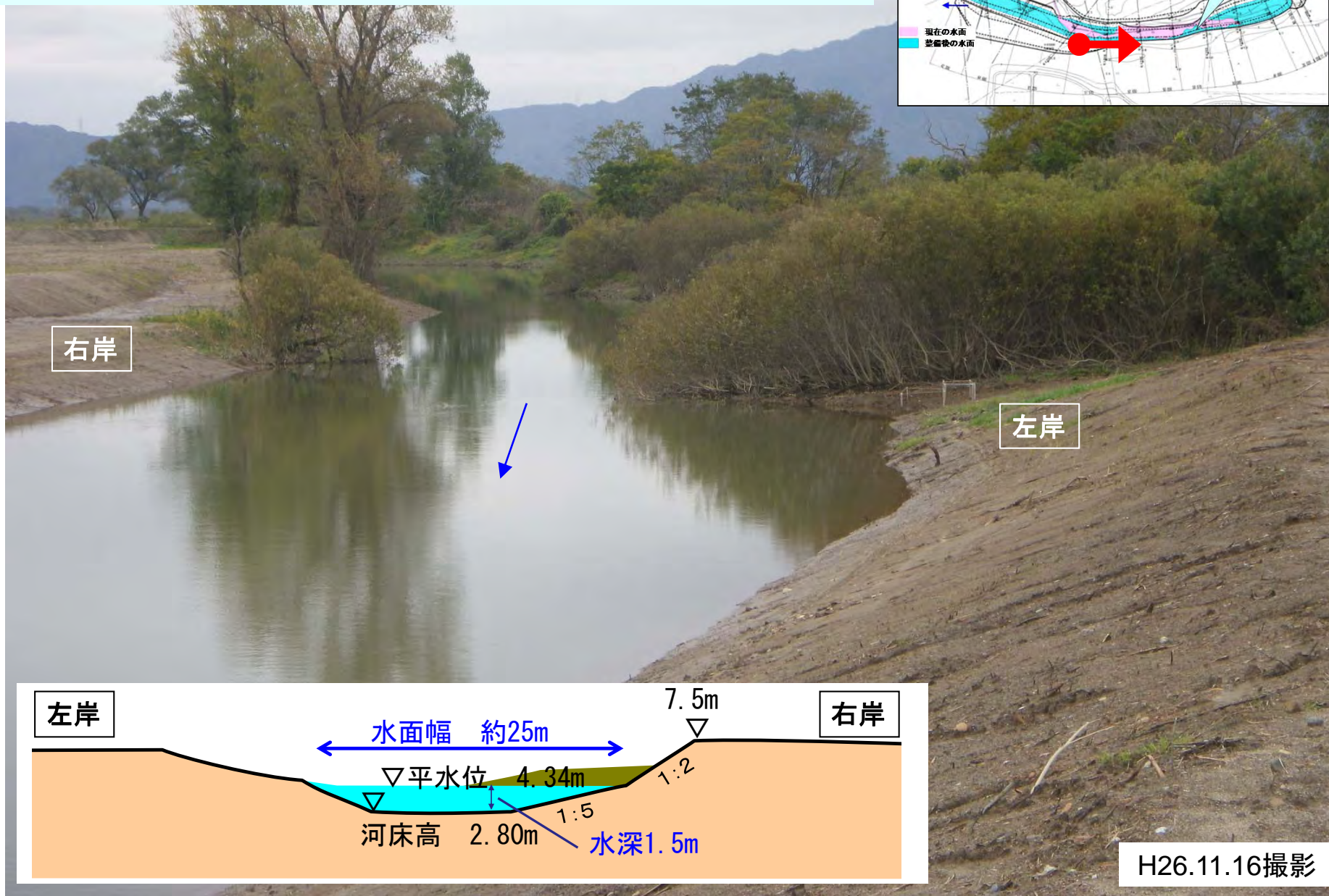
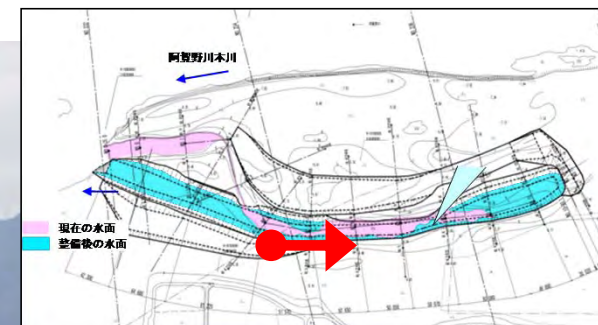


H26.11.16撮影

開削後の水路部分



- ・ 中流部から上流方向を望む
- ・ 左岸（写真右手）は植生が良好なため存置した



右岸

左岸

左岸

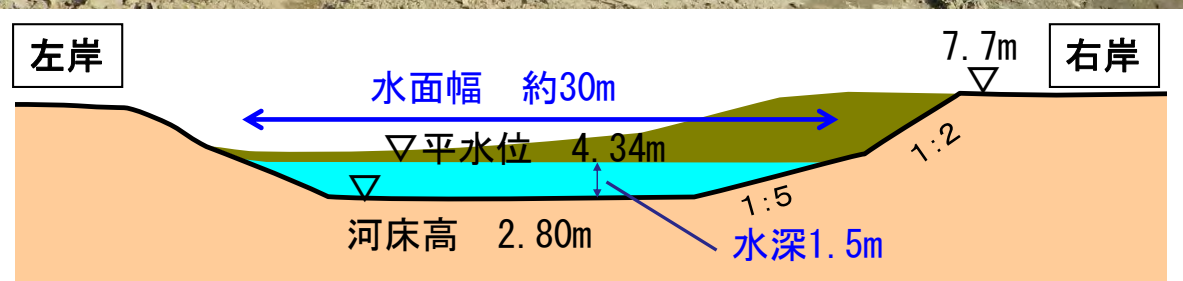
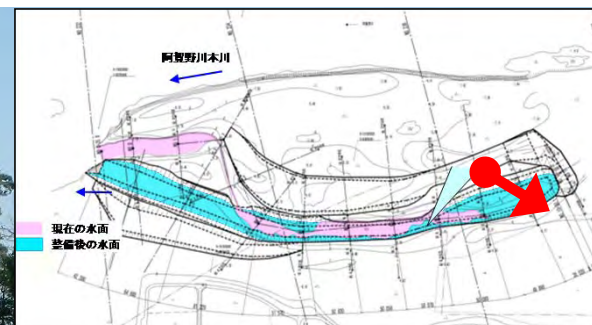
右岸

水面幅 約25m
▽平水位 4.34m
河床高 2.80m
水深1.5m
1:5
1:2
7.5m

H26.11.16撮影

4.5. 高山地区の現況⑤ 造成ワンド上流

- ・ ワンド上流部
- ・ 奥を広くし、水面幅に変化をもたせる



H26.10.1撮影

4.6. 高山地区植物移植実施状況



重要植物の見分け方や生育地の特性の解説



移植方法と配慮事項の説明



移植先箇所の選定方法と、移植の実践



移植の実践後

開催日：平成26年8月1日

5. 早出川流れの多様性再生箇所



5.1 早出川の現状①



- ・ 桑山大橋から下流を望む
- ・ 平瀬が続く単調な流れになっている

- ・桑山大橋から上流を望む
- ・平瀬が続く単調な流れになっている



H26.9.12撮影

- ・三本木大橋から下流を望む
- ・平瀬が続くも、水深や流速が単調になっている



- ・三本木大橋左岸から下流を望む
- ・水深や流速が単調になっている

